

「もしも」 ひとつと

春日井には、災害を他人事に
しない人たちがいます。

愛 知人

NPO disaster volunteer

.....CONTENTS.....

- ささえ愛センター登録団体インタビュー
- ささえ愛センターについて
- 市民活動団体イベントカレンダー



災害ボランティア愛・知・人とは

東日本大震災後に立ち上げた団体で、日本各地で起こりうる災害に対し迅速に支援をしていくことを目的としています。またそれだけでなく、皆が持つ暖かい心と気持ちを広げようと考えています。



愛・知・人代表
赤池博美さん

活動のきっかけは

東日本大震災の時、アウトドアの仲間同士が震災ボランティアに行こうと話し合い、寝袋や物資を持ってゴールデンウィークに5日ほど現地へ行ったことが始まりです。

当初、石巻市に入って災害ボランティアセンターの指示で活動していましたが、ここは盛んにTVで報道されたこともあって人も物資も豊富でした。ところが、隣の東松島市はTV報道が少なかったため、物資もあまり届かず食事のままならない状況でした。

東松島市で初めて被災者の生の声を聴き、この人たちの要望に応えたい、寄り添いたいと思いました。その時の経験が今に繋がっています。

活動への思い

報道では死者に目が行きがちですが、私たちは、尊い命が失われたことにきちんと向き合いながら、今生きている人たち、生きようとしている人たち、生きる希望を失っている人たちに希望を与えることが使命だと思っています。

被災地での活動



熊本地震では民間ボランティアセンターを立ち上げ、行政主体のボランティアセンターでは対応できないことに挑戦しました。

例えば、屋根のブルーシート張り、ブロック塀の修理などは作業に危険が伴うという理由で、行政では対応できません。しかし、こういった作業は被災地でのニーズが最も高く、数も膨大です。

私たちは被災者の方の「一日も早く自分の家に戻りたい」という切実な思いに応えるのが使命だと思い、これらの作業を請け負って活動しています。

活動メンバーを募集しています

災害救援というと重労働というイメージがあるかもしれませんが、被災地では本当に多くのニーズが発生するため、力仕事以外にも出来ることはたくさんあります。実際に、70代~80代の方や女性、子どもも参加してくれています。例えば、被災地でこんなことをしてくださっています。

- ・被災者の方の話し相手、マッサージ、子供と遊ぶ
- ・炊き出し ・歌や音楽の演奏 ・車の運転
- ・ボランティアセンターでの受付
- ・ボランティアさんの食事の世話などをする裏方など

他にも、現地へ行かなくてもできる活動もあります。

- ・支援金の募集 ・街頭募金
- ・被災地へ送る物資の仕分け
- ・情報発信（ホームページの作成や更新、人への周知等）
- ・防災訓練など、地元での防災意識を高める活動など

経験のない方でも活躍していただけます。



私たちに専門的な技術があるわけではありません。しかし、現場で何百軒という家屋の復旧作業を経験する中で、たくさんの知識が増えました。

活動を続けるうち、手伝ってくれる人が全国から集まるようになって、さらに被災者の方の要望に応えられるようになってきました。

人が増えれば、やれる作業、やりたい作業も増えます。本当に様々なことが現地の支援に繋がります。だから、多くの方に活動に参加してほしいと思っています。

愛・知・人では一人でも多くの方に活動に加わっていただくために、入会金・年会費はいただいておりません。また、ボランティアに参加しやすい環境を整えられるよう、被災地への往復バスや食事、寝泊まりする場の確保などに努力しています。こういった費用は個人からの支援金と赤い羽根共同募金会や日本財団さんなどの助成金で賄っています。



市民の皆さんにお伝えしたいこと



「なぜボランティアでそこまでするの？」とよく聞かれます。でも、皆さんの大事な家族や親戚、仲の良い友人が被害に合ったら、何はともあれ助けに駆け付けませんか？ **他人事ではなく、その気持ちを自分の知らない人にも向けていただきたいのです。**

被災した地域の子どもたちが、次は他の被災地へ送るブルーシートや土嚢袋に励ましのメッセージを書いてくれることがあります。被災地で支援を受けた人は、その次の被災地を支援する人になります。他人事ではなくなるんです。

幸い私たちのまち春日井市は、過去大きな災害には見舞われていません。しかし、決して災害を他人事にはしないで欲しいと考えています。**被災地に目を向け、自分事に置き換えて考え、参加してくれる人が少しでも増えてくれたら、私たちのまちが人に優しく、災害に強いまちになれると信じています。**

イベントのお知らせ

被災地の学生や自治会長に聞く、生の声 / 実寸大の模型で体感するボランティア

日時：2018年3月25日（日）10:00～16:00

場所：春日井市総合福祉センター 大ホール・小ホール

午前の部：語り部の会

- ・2011年東日本大震災：宮城県東松島市の高校生2名
- ・2015年鬼怒川決壊による水害被災地：常総市より1名
- ・2017年九州北部豪雨災害地：日田市大鶴の自治会長さん

昼食：ミュージシャンによるライブ

豚汁とアルファ米（先着200名様）を食べながらライブをお楽しみください

午後の部：災害ボランティア体験会

屋根のブルーシート張り・床下の泥出し作業・避難所体験

イベント：東北物産展・バルーンアート

ブース：外国人・子ども・要支援者に対する支援について



お問い合わせ

TEL : 080-3758-0827 (代表：赤池博美)

公式HP : <http://ai-chi-jin.lolipop.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/npo.aichijin/>

編集後記 (K・K)

今まで新聞やテレビの映像で災害地でのボランティアの活躍を見てきた。今回、実際に災害地で活動している赤池さんの臨場感のある話を聴いて、この活躍が多くの市民の共感を得て、活動に参加する人が増えてくれればと思う。



日付・時間	イベント名	場所・定員・料金・その他	実施団体・問い合わせ先
1月19日(金) 10:00~15:00	第5回ママの文化祭	春日井市総合体育館 入場無料	NPO法人あいちかがいっこ 担当: 松元永己、水上美晴 連絡先: 0568-84-2633
1月20日(土) 14:00~16:30	西山製鉄遺跡 発掘担当者による講演会	春日井市中央公民館 定員100名 資料代200円	春日井たたら研究会 担当: 小木曾正明 連絡先: 090-5114-9835
1月20日(土) 9:00 出発 11:30 現地解散	弥勒山の山歩き	都市緑化植物園駐車場 9時集合 11時30分頃現地解散	春日井山の会 担当: 高原道雄 連絡先: 090-5106-8408
1月21日(日) 7:00 出発	尉ヶ峰の登山と龍潭寺の拝観	JR春日井駅 7時出発 会費4,500円	
2月18日(日) 7:17 出発	熊野古道「ツツラト峠越え」ハイキング	JR春日井駅 7時17分出発 青空フリーキップを各自購入 2,570円	
1月27日(土) 10:00~11:45	人生の質は自律神経で決まる	ささえ愛センター 参加無料 要事前申込み	さくら野会 担当: 桜井 連絡先: 090-9901-8043
1月27日(土)、2月24日(土)、 3月24日(土) 9:30~12:00	かがい東部丘陵自然観察会例会 (築水池もしくは少年自然の家周辺の森を散策しながら自然観察)	少年自然の家北側第3駐車場 参加無料 問い合わせ先: 0568-92-4129	かがい東部丘陵自然観察会 担当: 太田省三 連絡先: 0568-91-7828
3月31日(土) 9:30~12:00	なごや環境大学「シデコブシの森を観察しよう」(シデコブシを中心に早春の森を観察し、尾張東部丘陵に残されている植物の観察とその保護について考える)	少年自然の家玄関付近 参加費300円 問い合わせ先(内海) 090-9912-3686	
2月3日(土) 13:30~16:00	スキルアップ講座 「ソーシャルスキルを育てましょう」	ささえ愛センター第1集会室 定員50名 資料代1,000円	NPO法人春日井子どもサポート KIDS COLOR 担当: 近藤裕美 連絡先: 090-6619-6376 yumik714@yahoo.co.jp
2月10日(土) 10:00~11:30	わくわく! ふれあいワールド 「外国人と英語で話そう」	国際交流ルーム 電話で応募 参加無料	春日井市国際交流ネットワーク 担当: 国際交流ルームスタッフ 連絡先: 0568-56-1944
3月20日(火) ①10:00~ ②11:00~	わくわく! ふれあいワールド 「イースターを楽しもう」	国際交流ルーム ハガキで応募 参加無料	
2月17日(土) 10:00~11:00	じゃがいも植え付け祭	宗教法人玉雲寺(下原町2027) 定員8名 参加無料 軍手、小さいスコップ持参	NPO法人 ザ・希望 担当: 伊藤 洋 連絡先: 090-2267-1535
2月25日(日) 開場 13:00 開演 13:30	春日井ギターオーケストラ 「第36回定期演奏会」 ~映画音楽~	春日井市東部市民センター大ホール 定員500名 入場無料	春日井ギターオーケストラ 担当: 坪井 淳子 連絡先: 0568-83-1784
3月25日(日) 10:00~16:00	被災地の学生や自治会長に 聞く、生の声 / 実寸大の 模型で体感するボランティア	春日井市総合福祉センター大ホール 先着200名 参加無料 豚汁とアルファ米の炊出しあり	災害ボランティア 愛・知・人 担当: 萬谷 連絡先: aichijin0311@gmail.com

ささえ愛センター

春日井市内で活躍している市民活動団体や
ボランティアに関心のある市民の方々を支援しています。



場 所 : 春見町3番地(春見公園すぐとなり)
開館日時 : 火曜~日曜 9:00~21:30(月曜・12/29~1/3は休館)
機 能 : ボランティア・NPOの相談窓口や関連講座など

tel : **0568-56-1943**

sasae-i@city.kasugai.lg.jp web : <http://kasugai.genki365.net/>

トップページのバナー広告主募集中! (<http://www.city.kasugai.lg.jp/seisaku/koukokujigyoyou/006644.html>)

ささえ愛センターまつり (4月)

ささえ愛センターの歩み

〈2017年の振り返り〉

4月16日、「ささえ愛センターまつり」が開催されました。

「科学実験教室」や「世界の色々な遊び」、「シイタケの菌打ち」などの体験ブースや、活動紹介パネルの展示、震災被災地支援の物販、カブトムシの幼虫の配布などもありました。

午後からはステージイベントも開かれ、ゲストの世界的ヨーヨー選手羽角伊弦さんらによるパフォーマンスや、団体による演劇やダンスなどの披露が行われました。

来年のお祭りは10回目の節目。お楽しみに！



青少年

ボランティアスクール (8月)

例年大反響の子ども向けボランティア入門講座。毎年、夏休みに開催しています。

今年もたくさんの子どもたちがボランティアの基本を勉強して、市内の様々な施設で活動体験してきました。

体験は福祉活動だけでなく、自然保護や畑のお手伝い、喫茶店でのお仕事など多種多様な中からお選びいただけます。対象は市内の学校に通っている小学校5年生から高校3年生まで。



オトナの ボランティアスクール (9月~10月)

ボランティアのはじめの一步を支援する入門講座です。

基本から勉強して気になることや不安をなくし、実際に活動している団体にお試し体験にけるのが魅力となっています。様々な体験先から好きなものを決め、都合のいい日程の中で体験することができ、参加者はいい機会になったと顔をほころばせていました。今年も例年以上に参加者が多く、講座の後も体験先で活動し続けたいという声もいくつも上がっていました。



見よう 聞こう 市民活動

市民活動のパネル展示

(市役所本庁 6月)
(東部市民センター 11月)



登録団体の日頃の活動について市民の皆様を紹介するパネル展示会です。例年、6月頃に市役所本庁の1階ホール、11月頃に東部市民センターの通路にて開催しています。
今年も団体ごとに一言コメントをつけ、分野ごとに分かりやすく配置して「見やすさ、分かりやすさ」に磨きをかけました。
市役所本庁での展示では問い合わせ窓口を設け、団体に関するご質問などに対応してました。

窓口の傍には市民活動団体についてのアンケートも行いました。シールを貼って知っている活動分野について投票していただき、たくさんのご参加をいただきました。まだまだ認知度の低い活動もあり、これから積極的に情報を発信していく必要があることを再確認しました。

汗もかく！ 資金獲得セミナー (9月)



例年「助成金獲得セミナー」として開催していた本講座ですが、今回は自身で汗をかいて集める「寄付金」や、新しい資金獲得方法として「クラウドファンディング」などについても学習する総合的な資金獲得セミナーに生まれ変わりました。
また、ただ助成金をもらって使い切るだけではなく、助成金をどう上手に使うのか、助成金を出してくれた組織と上手に繋がりを持つことでその後につなげることなどについても経験豊富な講師からお話を聞くことができました。

講師として、非営利組織として市民にクラシック音楽の素晴らしさを伝え続けている「コンサートグループ花の詩」代表の和田氏、新聞などでも取り上げられている「選挙割」の仕掛け人「おがつち夫婦の街案内」代表小川氏の他、「スローライフ」「やっど・かめの会」代表市原氏、「NPO法人けやきフォーラム」代表今西氏をお招きし、お話しを伺いました。

市民活動のための フアシリテーター 養成講座 (11・12月)

フアシリテーターは会議の進行役のことです。会議の良し悪しは進行役で決まる！ということ、団体活動に欠かせない会議をよりよくするための講座を開催しました。
春日井市出身で現在名古屋で大活躍中の名畑恵氏を講師に迎え、会議を活発にする方法や上手にまとめるための心得などを座学とグループワークで楽しく学びました。



今後について

今年度も残すところわずかとなり、残すは団体向けの会計セミナーのみとなりました。

来年度も、たくさんさんの事業を行っていきます。気になるものがありましたら、ぜひご参加ください！